



教員が研究の楽しさを語る

第201回(10/9)岩城 高広先生推薦

ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 アかりんアワーのコーナーに配架されます。

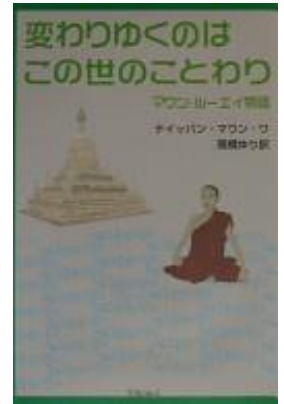
Book1

変わりゆくのはこの世のことわり: マウン・ルー エイ物語

著者: テイッパン・マウン・ワ著 ; 高橋ゆり訳

出版: てらいんく, 2001.3

コメント: 植民地期のビルマ人役人を主人公とする、ミャンマーの短編小説集の翻訳です。地域社会とそこに暮らす人びとの姿もよく描かれ、植民地下の社会の一端を垣間見ることができます。



Book2

地図がつくったタイ: 国民国家誕生の歴史

著者: トンチャイ・ウィニッチャクン著 ; 石井米雄訳

出版: 明石書店, 2003.11

コメント: タイ(シャム)における国民国家形成を、空間認識という観点から論じています。19世紀以降、伝統的な空間認識と西欧のそれとが接触し、「地理的身体」なるものが創出される過程を描いています。



Book3

近代科学のリロケーション: 南アジアとヨーロッパにおける知の循環と構築

著者: カピル・ラジ著 ; 水谷智, 水井万里子, 大澤広晃訳

出版: 名古屋大学出版会, 2016.7

コメント: 西欧において確立したと考えられがちな、近代科学の知見のなかには、16世紀以降のインドとのダイナミックな交渉の過程を抜きにしては語れないものがあることを、くわしい叙述によって示しています。

